

わが町の名人・達人・職人

画伯は魚屋さん

〃絵画の名人〃

なかうら まさなお
中浦 正直さん

(昭和35年7月20日生まれ)



今月号は、生名島で美しい自然を描き続ける「絵画の名人」中浦さんにお話を伺いましたので、紹介します。

中浦さんは、生名島に生まれ、大阪芸術大学短期大学を卒業後、いくつかの仕事を経て、生名島に帰ってから中浦鮮魚店を継ぎました。

私たちが育った昔ながらの
美しい島の自然の雰囲気と
絵にイメージしています

― 絵画との出会いは。

父が絵画を好きだったこともあり、物心ついた頃から絵画が好きになっていました。

そして、絵画が好きだったから絵画の塾に行ったらいいと父の勧めがあり、7歳の時から生名島の笹野先生のところで絵画を学びました。そして、中学1年生の時には、全関西行動美術展で初入選し、中学2年生の時

― 一つの作品を仕上げるのにどのくらいの期間がかかるのですか。

東京の美術展に出展するような大きな絵は、三ヶ月くらいかかります。

― 絵画を画く魅力は何ですか。

風景・花などの自然が好きで、自然のものを画くのが好きです。そんな自然を画いていると気持ちが入り込むことができます。

また、人工的なものを画くより、自然を画く方が、イメージをプラスすることができ、写真とは、そのものを撮影するだけですが、絵画はイメージをプラスすることのできる魅力があります。

依頼があったら、肖像画を画くこともあります。

― 好きな画家はいますか。

子供の頃はシャガールが好きでし

中浦さんの作品「夕日と月」



た。今は、日本画家の東山魁夷が好きです。夢のある絵画が好きです。

― これからの夢・目標は。

瀬戸内海をテーマにした絵を画いていきたいと思っています。世界各地・日本各地をスケッチ旅行しましたが、やはり私たちの住む「瀬戸内海」が一番美しいと思います。そんな瀬戸内の美しい自然や風景をイメージした絵を画いていきたいと思っています。

私たちが育ったそんな昔ながらの美しい島の雰囲気を頭に入れながらイメージしていきたいと思っています。

また、自己満足でなく、中央の美術展でも認められるよう向上していきたいと思っています。

― 上島町が誕生して、何か変わったことがありますか。

今までは、他の島のことが、遠い島のように何か壁のようなものを感じていましたが、合併して、他の島の同級生にも今まで以上に親近感が沸いてきて、同じ町になったんだなと感じます。

― 上島町に期待することは。

早く橋が架かれば、スムーズに人の行き来ができて、人間関係もより深く、交流もより深くできるようになると思います。

― 最後に、子供たちへ絵画を画くコツを教えてください。

まず、画くものをよく見て、観察することです。そして、いろいろな色をたくさん使った方がいいと思います。また、自分の出した色は、大事にのびのびと表現し、個性を伸ばしていきたいように。

中浦さんの営む中浦鮮魚店の中には、中浦さんの画いた絵画が展示されています。また、ホームページにも掲載されていますので、いつでも鑑賞することができます。

■中浦鮮魚店ホームページ
<http://www16.ocn.ne.jp/~n.sengyo/>

【画暦】中浦正直（洋画）

1972年	全関西行動美術展初入選
1975年	第一回個展（因島）
1981年	ヨーロッパ各地をスケッチ旅行
1981年	大阪芸術大学短期大学卒業
1987年	行動美術展（東京本展）初入選
1991年	近代日本版画展ニューヨーク展、パリ展参加
その他	全関西行動美術展入選26回 行動美術展（東京本展）入選9回 個展8回（因島・尾道・福山） グループ展（中国・四国を中心に開催）

このコーナーでは、町のいろいろな人の情報をお待ちしています。

【上島町企画情報課 TEL 0897-77-2500】